

基本目的 6 市民が自立して生活できる

行動目標 6-1 地域で福祉活動が活発に展開される

(所管課名 保健福祉部保健福祉課)

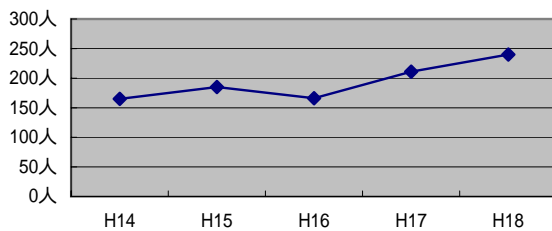
任務 市社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の団体の活動を支援し、地域住民や関係者の積極的な参加や相互協力のもとに地域福祉を充実させる

任務の成果・活動指標の推移

社協ボランティアコーディネーター人数

H14実績	165人
H15実績	185人
H16実績	166人
H17実績	211人
H18目標	240人

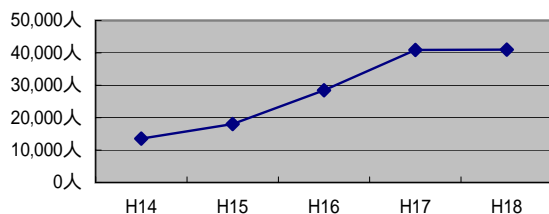
社協ボランティアコーディネーター人数



ふれあいいきいきサロン参加者数(実施グループ数)

H14実績	13,528人	(44)
H15実績	18,018人	(71)
H16実績	28,472人	(89)
H17実績	40,911人	(118)
H18目標	41,000人	(120)

ふれあいいきいきサロン参加者数



指標の説明

地域福祉の活動状況の指標はいくつか考えられるが、ボランティアコーディネーター人数やふれあいいきいきサロン参加者数については、市社会福祉協議会で常に把握しており、また、地域での福祉活動の様子も表していると考えられるため、これらを指標とした。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

市社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会連合会等の団体への補助を通して、その活動を支援するとともに、これらの団体と連携して、地域における市民参加の促進や在宅介護支援センターなどと協働を図り、地域福祉の推進に努めた。

平成18年度

引き続き市社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会連合会等の活動を支援し、連携を図ることによって、地域福祉の推進を図りたい。

これからの課題、施策等展開の方向性

福祉ニーズが一般化、多様化している中、市民相互の交流や助け合いなど地域福祉活動がますます重要である。

地域の特性に応じた地域福祉活動の促進を図る。

市社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会連合会等の活動を支援し、連携を図ることによって、地域福祉の推進を図る。